

参事院秘第四十一号

官報ニ記載スル事項ノ件

今般文書局ヲ設置シ官報ヲ發行セラルニ
付テハ官報ノ権力ヲ明示セサルヘカラス新聞
紙條例中官ノ許可ナクシテ記載スルコトヲ得
サルノ事項サナカラス然ルニ官報ハ該條例ニ
於テ行政上ノ都合ニ依リ記載ヲ禁シタル事
項ト雖モ或ハ之ヲ記載スルコトアルヘシ而シテ官
報ニ之ヲ記載シタル上ハ各新聞紙カ官ノ許可
ヲ得タルト同一ノ事ナレハ各新聞紙ニ於テ之
ヲ抄寫スルコトヲ得セシムルハ至當ノ事ナリ

文書局

甲 按

十

甲一〇三

又官報ハ官ノ發行スルモノニシテ凡ソ立法司法
行政ノ事ニ付各新聞紙ニ記載シタル事項ニ付
其誤ヲ正ストキハ是レ即チ新聞紙條例第
二十九條ニ掲クル所ノ關係アル者ナリ故ニ官報
ノ正誤ヲシテ同條ノ正誤ト同等ノ効力ヲ持ッ
シムルハ至当ナリ
右等ノ理由アルニ付左案ノ通布達相成可
然於上申候也

布達案

凡ソ官報ニ記載シタル文書事項ハ新聞紙

ニ於テ之ヲ抄録スルコトヲ得

官報ニ於テ新聞紙ニ記載シタル事項ノ

誤ヲ正ストキハ新聞紙條例第二十九條

ノ關係アル者ヨリ正誤ヲ求メタルト同一ニ

右布達候事

年月日

太政大臣

内務卿

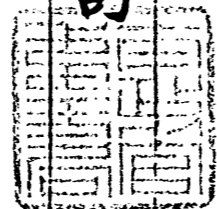
明治十六年五月廿三日参事院議長山縣有朋



太政大臣三條實美殿

明治十六年五月廿八日

第二局



別紙参事院上申官報ニ記載スル事項ノ
件ニ同院意見ノ通御裁可相成可然哉仰
高裁候也

按乙

明治十六年五月

文書局



官報記載ノ件ニ付参事院上申布達按第一項ハ
新聞紙條例ニ依リ記載スルヲ得サル者ト雖
モ官報ニ登載シタル者ハ云々スルコトヲ得レ
ル趣意ニ可有之虞文字簡畧ニ過キテ文ヲ成サ
ルカ如シ又第二項關係アル者ヨリ正誤ヲ求メ
タルト同一トスノ文字モ或ハ妥当ヲ缺クヤニ
存シラレ候且正誤ノ全文ヲ登載セサレハ不都

合ニ候間別紙文様ノ通布達相成候方可然哉謹
テ仰高裁也

布達案

凡ソ官報ニ登載シタルモノハ新聞紙條例ニ依
リ記載スルコトヲ得ザル者ト雖モ各新聞紙ニ於
テ其文ヲ抄録スルコトヲ得

官報ニ於テ新聞紙ニ記載シタル事項ノ誤ヲ正
ストキハ新聞紙條例第二十九條ニ従ヒ正誤ノ
全文ヲ登載スベシ

右布達遵照事

明治六年六月二十日

内務大臣

内務卿

官報記載、件、付布達案甲印之通
多事院より上申之案、右、文字簡
易、且、又、文字、安當、ナク、延、モ、有、之
付、乙、印、之、通、改、按、布、達、不、相、成、ラ、レ、
不、都合、之、段、文、書、向、より、上、申、セ、リ、依、テ
甲、乙、所、按、何、レ、可、決、ス、キ、ヤ、所、高、裁、也

付案

局甲一。三號

明治十六年六月一日

大臣

甲可
乙可 **力**

内閣書記官



官報に記載スル事項布達之事
右甲乙兩按ヲ具シ回議ス供ス

甲可

參議

乙可

Handwritten signature and several official seals.

付案

明治十六年六月二十一日

文書局

本年五月中官報ノ儀御達相成候以来諸官廳
ノ報告ヲ編纂試刷致候處従前ノ欄目等改正
相成度廉有之尚將來モ時宜ニ由リテハ稍斟
酌ヲ要スル儀可有之ニ付今般官報発行ノ期
日御達ノ際左按ノ通更ニ御達相成可然哉此
段仰高裁候也

御達按

官省院廳府縣